

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

( 小松市)立( 芦城中)学校

GIGA校内研修推進リーダー( 三宅 祥之 )

## 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

### 成果

・タブレット端末を効果的に用いることに有用性・必要性を感じている教員が多い。

### 課題

・校内研修の機会の設定が困難で、十分な実施ができなかった。  
 ・生徒のメディアリテラシーや機器の扱い方に課題がある。  
 ・端末を都度出し入れする決まりであり、授業で使用するに当たっての利便性が低い。  
 ・使用に当たり困難さを感じる場合がある。

## 校内研修のアイデア

- ・授業者の必要に応じて即座に端末の仕様ができる環境の整備
- ・使用に当たっての障壁の緩和
- ・操作の難易度別の希望研修
- ・生徒の端末使用に当たっての指導事項の共通確認

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・メディアリテラシーや機器の適切な扱い方を身に着けている。
- ・文房具等と同様に必要に応じて抵抗感なく用いることができる。
- ・必要に応じて適切な手段を選択することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月			
5月	タブレット端末の扱い方[生徒向け] SkyMenu基本の扱い方[希望者参加]	三宅・大江	
6月	Qubena基本の扱い方[希望者参加]	三宅・大江	
7月			
中間 目標	学習活動ソフトウェアやAI型ドリルの基本機能の利点を活かした授業を行う。		
8月	学習活動ソフトウェアの利点を活かした授業[提案授業 全体研修]	三宅・大江	
9月			
10月	SkyMenu他機能の扱い方[希望者参加]	三宅・大江	
11月			
12月	Qubena他機能の扱い方[希望者参加]	三宅・大江	
中間 目標	教員・生徒とも障壁を感じることなく授業でタブレット端末を扱う。		
1月	AIドリルの利点を活かした授業[提案授業 全体研修]	三宅・大江	
2月			
3月			

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(丸内中)学校

GIGA校内研修推進リーダー(岡谷 智和)

## 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・端末操作が得意な教員を中心に活用を図ることができた。</li> <li>・Microsoft Teamsの活用やタブレットの持ち帰り、Qubenaの活用など、全教職員を対象に校内研修を行うことができた。</li> <li>・若プロでの実践交流会は非常に有意義なものとなった。</li> <li>・授業や総合的な学習の時間等での活用が見られるようになった。</li> <li>・生徒のICT活用のスキルが高まりつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業づくりにおける共通実践、学校研究との関連等、学校全体としての取り組みとしては不十分な面も見られた。授業での効果的な活用方法や実践事例などについて、研究部とも連携しながら次年度はさらに計画的かつ組織的に発信していく必要がある。</li> <li>・週1回程度の持ち帰りの実践については徹底できなかったため、課題の精選も踏まえて考えていきたい。</li> </ul>

## 校内研修のアイデア

- <本年度の重点目標>
- ①「学ぶ心」(確かな学力)の育成・・・授業力の向上
  - ②「思いやる心」(怒の心)の育成・・・情報モラルの向上
  - ③「健やかな体」の育成・・・情報機器との正しい関わり
  - ④「学校力」の向上・・・校内研修の充実
- <重点目標にせまるために>
- ☆推進チーム(3名 各学年1名)
- ・タブレット活用に関する全体掌握・校内研修等における活動の推進
- A 授業改革チーム (研究)
- ・授業におけるタブレットの活用の推進
- B 集団づくりチーム (生徒指導)
- ・情報モラルや情報機器との正しい関わりに関する啓発活動(生徒主体)
- C 学力向上推進チーム(教務)
- ・各教科のスキル学習やドリル学習なども踏まえたタブレット活用の推進
- <具体的な研修方法>
- ・若手の実践を校内全体に広げる機会を持つ(8月・1月)
  - ・総合的な探究の時間を基軸に共通実践を図り、各教科に広げる。(自分の考えをまとめる場面について、ノート機能やプレゼン機能等を用いる)
  - ・ICTが苦手な教員に対し、個別に端末の操作方法を教える機会を適宜設ける。

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全生徒がタブレットを用いて、自分の考えを他者に公開し、交流しながら考えを深めることを1人でできる。
- ・全生徒が「総合的な学習の時間」の成果をタブレット端末を用いて、発表することができる。(レポート形式orプレゼン形式)
- ・全教員が担当する教科で2学期・3学期に1回以上、「生徒1人1台端末を活用して学ぶ授業」を行うことができる。
- ・全生徒が家庭学習としてタブレットを活用することができ、教科の基礎学力向上を目指して取り組むことができる。(Qubena)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[全体研修] 校内研修計画の共通確認	推進リーダー	4/25(月) GIGA校内研修推進リーダー研修(第1日)*方向性の確認
5月	[全学年] 端末操作・情報モラルについての理解(総合的な学習の時間) [学力向上ABC] 活動計画の作成 [推進] 推進チームタブレット活用勉強会 [個人] 「端末操作」個別相談会(随時)	学年担当 学力向上 推進チーム	5/17(火) GIGA校内研修推進リーダー研修(第2日)*他校との情報交換
6月	[学力向上ABC] 活動計画の作成・提案事項の検討 →6月or7月の職員会議で提案 [個人] 「端末操作」個別相談会(随時)*推進チーム	推進チーム	
7月	[若手] 若手教員による端末活用研修会に向けた勉強会 [個人] 「端末操作」個別相談会(随時)*推進チーム [全体研修] 校内研修会 研究授業 (タブレットを活用した授業実践)	推進チーム 若手教員 教務・研究	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手教員を中心に実践例の蓄積を図る(学期中に3回以上の実践を行う)。</li> <li>・全教員が端末の基本的操作を習得する。</li> <li>・全学年が朝学習としてタブレットを効果的に活用する。</li> </ul>		
8月	[全体研修] 若手教員による端末活用研修会(夏休み中) 2学期以降の授業づくりについて	若手教員 推進リーダー	
9月	[個人] 「端末操作」個別相談会(随時)*推進チーム		9/14(水) GIGA校内研修推進リーダー研修(第3日)*後期の方向性
10月	[学力向上ABC] 前期の振り返りと今後に向けて →職員会議において共有を行う	学力向上 推進チーム	
11月	授業交流週間(タブレットを活用した授業の提案)	学力向上A 推進チーム	
12月	[全体研修] 実践交流会(校内研修会) [若手] 若手教員による端末活用研修会に向けた勉強会	推進部会	
中間目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教員が「総合的な探究の時間」で、ICT活用について指導できる。</li> <li>・全教員が、教科の授業で最低1回は1人1台端末を利用して授業を行う(2学期・3学期)。</li> <li>・全生徒がタブレットを計画的に持ち帰り、家庭学習で効果的に活用することができる。</li> </ul>		
1月	[全体研修] 若手教員による端末活用実践報告会(冬休み中) 3学期以降の授業づくりについて	若手教員 推進リーダー	
2月	[学力向上ABC] 後期の振り返りと今後に向けて →職員会議において共有を行う	学力向上	2/24(金) 実践報告の提出
3月	[全体研修] 来年度に向けての提案	推進リーダー	

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(松陽中)学校

GIGA校内研修推進リーダー(吉木 優充)

## 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

### 成果

- ・「総合的な学習の時間」等で、調べ学習、学びの成果をプレゼンテーションソフトを活用して発表することは各学年効果的に使うことができていた。
- ・「生徒1人1台タブレット端末を活用して学ぶ授業」を意欲的に授業に導入する教員が多数おり、授業交流、教科部会を通じて情報の共有を行うことができた。

### 課題

- ・タブレット端末を意欲的に利用する教員と、そうでない教員の差がある。
- ・タブレットの授業での効果的な活用について研修を深める必要がある。

## 校内研修のアイデア

- ・学年ごとにGIGA (ICT教育) 推進担当を設置し、GIGA校内研修推進リーダーを中心とした研修体制を構築する。(推進チーム)
- ・学年ごとのGIGA担当が中心となって、「総合的な学習の時間」等におけるタブレット端末を利用した授業を提案する。授業実践を推進担当で報告、交流し、PDCAサイクルを活性化させていく。
- ・教科部会等で、GIGA出前サポートを活用していく。
- ・ICTが苦手な教員に対しては、年間を通じて端末の操作方法を教える機会をもつ。
- ・教科部会や学年会などを利用して教員間の差がなくなるように研修の機会を設けて苦手な教員のサポートを行う。
- ・研究授業や授業交流で、タブレットを効果的に活用した実践を、教員全体で共有する。

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・全生徒が、「総合的な学習の時間」等で、学びの成果をプレゼンテーションソフトを活用して発表する。
- ・全教員が、1単元に1回以上を目指して、「生徒1人1台タブレット端末を活用して学ぶ授業」を行うことができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間研修計画の説明(全体) 動画ライブ視聴による研修～12月まで随時(個人)	推進リーダー	4/25(月)第1回GIGA校内研修推進リーダー研修*年間計画持参
5月	GIGA担当者による実践交流、PDCA(推進チーム)	推進リーダー	5/17(火)GIGA校内推進リーダー研修
6月	担当者による提案授業(学年)	推進リーダー 推進担当	
7月	他校への視察(個人)		
中間目標	AI型教材Qubenaを利用した授業を各単元ごとに利用する。 ICT活用の実践を推進リーダー中心に行い。教員間の差を少なくする。 全教員が「生徒1人1台タブレット端末を活用して学ぶ授業」を行う。		
8月	GIGA出前サポートによる研修(教科部会) 若手による教科における提案模擬授業(全体)	教科長 主幹・推進リーダー	
9月			9/21(火)GIGA校内研修推進リーダー研修*発表資料持参
10月	若手による教科における提案授業(全体) GIGA校内研修リーダーによる実践交流、PDCA(推進チーム)	推進リーダー	
11月	授業交流(全体)		
12月	端末活用実践交流会(全体)冬休み中	推進リーダー	
中間目標	AI型教材Qubenaを利用した授業を各単元ごとに利用する。 全教員が、1単元に1回以上を目指して、「生徒1人1台タブレット端末を活用して学ぶ授業」を行う。		
1月	教科における効果的な端末活用についての研修会(教科部会) *GIGA出前サポート活用も考える	教科長 推進リーダー	
2月	若手による教科における提案授業(全体)	推進リーダー	
3月	今年度振り返りと来年度に向けての提案(全体)	推進リーダー	

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(御幸中)学校

GIGA校内研修推進リーダー(中西 栄樹)

## 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

### 成果

- ・授業でのタブレットの使用率が上がった。(生徒・教員)
- ・Office Formsでのアンケート実施やTeamsでのオンライン授業など、学校での利用に関して多くの教員が携わった。
- ・総合的な学習の時間でのプレゼンテーション作成に、タブレット端末を利用する機会が増えた。
- ・資料の配付が使いやすく、生徒タブレットの手元で拡大できるように資料が見やすくなった。
- ・ホワイトボードで行っていたグループ発表などは、個人の考えなどを回収したり表示したりしやすく、データとしても蓄積しやすくなった。

### 課題

- ・タブレットの台数が教員数分しかなく、キーボードがないものも多いので使いにくく、個別のオンライン配信や、各教科で専用に使うということが難しい。
- ・教材の準備に時間がかかり、使用を躊躇する傾向がある。
- ・使用実践記録表を作成し、使用者の学年や教科における頻度など調査・検証したかったが、できなかった。
- ・生徒・教員ともに「タブレットを使って授業する」という意識が低い。筆記用具を使うようにタブレットを日常的に使用するための課題を協議していく必要がある。

## 校内研修のアイデア

- 〈本年度の重点目標〉  
「生徒が主体的に学び、思考を深めることができる授業の実践」  
～探求したくなる課題と発問の工夫～  
〈重点目標に迫るために〉  
①探求したくなるような課題の設定  
②自主的に学びを深めていけるような発問・コーディネート  
③効果的な学習形態の工夫  
→学校研究に置く以上の観点について実践をすすめる過程で、効果的な活用を積極的に実践する。  
〈具体的な研修方法〉  
・年度初めに端末やアプリの使い方を学び直し、これまでの実践を確認する。  
・実践報告会を校内研修会で数回行う。授業の互見週間等も利用し、生徒の活動の様子についても動画記録する。  
・GIGA校内研修推進リーダーと各部会リーダーが定期的に進捗状況などの情報共有をする。

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・端末を効果的に活用することで、生徒が自主的に学習を進めることができる。
- ・できるだけ多くの生徒が、自分の考え(制作物や作品なども含む)を他者と共有し、コメントをもらいながら考えを深めることができる。
- ・すべての教員が、さまざまなアプリを使って効果的に端末を活用することができる。
- ・タブレット操作の問題点や、アプリの効果的な利用法などを生徒も教員も見つけ、改善に向け学活や研修会などで話し合うことができる。
- ・情報モラルについて、正しい情報を全生徒・全教員が獲得することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・タブレット使用の確認(進級業務完了の説明、保管) ・教師用・生徒用タブレット管理について ・GIGAスクール構想の確認事項(動画で確認)		校内研修会 4/25第1回校内研修推進リーダー研修
5月	・動画視聴による研修(ステージ1・2)【個人】 ・若手PT勉強会・実践【グループ・個人】 ・端末操作勉強会①【全体】		校内研修会 若プロ
6月	・動画視聴による研修(ステージ3)【個人】 ・若手PT勉強会・実践【グループ・個人】 ・『総合的な探求の時間』でのICT活用について【全体】		校内研修会
7月	・端末操作個別相談会(随時)【個人】		
中間目標	・全教員が端末の基本的操作を習得する。 ・若手PTの端末操作について実践例を共有する。		
8月	・端末操作勉強会②【全体】 ・効果的なICT活用について①【各教科会】 ・端末操作個別相談会(随時)【個人】 ・タブレット操作の活用例を共有【全体】 ・若手PT勉強会・実践【グループ・個人】		教科部会 校内研修会
9月			第2回校内研修推進リーダー研修
10月	・効果的なICT活用について②【各教科会】 ・若手PT勉強会・実践【グループ・個人】		教科部会
11月	・若手PT勉強会・実践【グループ・個人】		
12月	・若手PT勉強会・実践【グループ・個人】 ・若手PT実践発表会【全体】		
中間目標	・全教員が教科で、最低1回はタブレットを用いた授業をし、効果的な活用例を紹介する。		
1月	・端末操作個別相談会(随時)【個人】 ・外部講師による校内研修		校内研修会
2月	・端末操作勉強会③【グループ・個人】		
3月	実践のまとめ【全体】 次年度に向けて【全体】		職員会議内

目標の達成に影響を与える現状

＋（強み）

- ・全学年タブレットを使用し、自分の考えをまとめることができる。
- ・ICT環境が整備されている。
- ・タブレット活用に慣れている教師がいる。

－（弱み）

- ・ICTを使用している教員としていない教員の差が激しい

校内研修のアイデア

学校研究「生徒が主体的に学び、自分の考えを豊かに表現できる生徒の育成」と連動させて取り組む。

- ・タブレットを使用するときのルールや情報モラルを、生徒と教員が理解するような機会を設ける。
- ・校内研修会を通して「タブレットを活用した交流」のモデル授業を行う。
- ・TEAM s を活用し、リモート授業を行える環境を整える。

目標「令和3年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

・生徒は、基本ルールや情報モラルを理解した上で、生徒が自発的に活用方法を見出し、自分の考えを発表ノートを使用しまとめることができ、「みんなの作品」を通して、他者と共有することができる。

- ・タイピング練習を通して、5分間で250文字打てるようにする。

月	研修テーマ [研修形態]	担当	関連する行事等
4月	年間指導計画についての説明会「全体」 タブレット使用に関するルールの確認【全体】	推進リーダー 推進リーダー	
5月	teamsのチームづくり	サブリーダー	
6月	校内研修「タブレットを使用したモデル授業」 タブレット使用強化月間①	推進リーダー	
7月	タブレット使用強化月間 「C4th」を使用した通知表作り	サブリーダー 推進リーダー	
中間 目標	「生徒」 発表ノートを使用し、自分の考えをまとめ、みんなの作品に投稿することができる。 「教師」 少なくとも1回以上、生徒がタブレットを使用した授業を行う。		
8月	他の学校の教師と合同実践報告会を行う。「個人」 前期の振り返りと後期に向けて「全体」	推進リーダー 推進リーダー 推進リーダー	
9月	計画訪問	サブリーダー	
10月	タブレット使用強化月間②「公開授業」	推進リーダー	
11月	タブレット使用強化月間②「公開授業」	推進リーダー	
12月	タブレット使用強化月間②のまとめ	サブリーダー	
中間 目標	「生徒」 全生徒が発表ノートを活用し、自分の考えをまとめることができる。 みんなの作品を使用し、他人の作品を評価し合うことができる。 「教師」 タブレットを使用した効果的な授業を公開する。		
1月		サブリーダー	
2月	後期の振り返りと来年度に向けて	サブリーダー	
3月	「C4th」を使用した要録づくり。	推進リーダー	

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(中海中)学校

GIGA校内研修推進リーダー(中川 琢也)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題	
成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びあいの充実」の視点で、効果的な活用方法について検討・実践・共有することで、生徒の主体的で対話的な学びにつなげることができた。</li> <li>・生徒が、積極的にICT端末を活用し、他者に分かりやすく伝える工夫したり、他者の意見をもとに考えを深めたりする姿勢が見られた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレット端末の使用が、余計に時間がかかるものになってしまったり、ねらいから外れたものになってしまったりすることがあった。</li> <li>・教員間でのスキルの差もあるが、活用意識の差が大きい。</li> </ul>

## 校内研修のアイデア

学校研究「主体的に学び、共に高め合える生徒の育成～学び合いを通して、生きる力を育む授業づくり～」と連動させて取り組む

- ・校内研修会の中に、ICT活用実践報告会を定期的に設ける。各個人での実践事例の交流により、活用機会の増加、効果的な活用事例の共有、困りごとの相談・改善などをして、ICT活用の意識向上につなげる
- ・時期を問わず、ICT活用における質問・相談をリーダーを中心に受け付け、サポートできる体制を作る

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・学習活動の中で、必要に応じて適切なツールを用いた学びあい活動ができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	[全体研修]校内研修会(今年度の研究の方針・視点について)	研究主任 GIGA担当	4/25 GIGA校内研修推進リーダー研修
5月			5/17 GIGA校内研修推進リーダー研修
6月	[全体研修]校内研修会 (模擬授業・指導案検討・ICT活用事例共有)	研究主任 GIGA担当	
7月	[全体研修]研究授業・整理会	研究主任 GIGA担当	
中間 目標	全教員が定期的に授業の中でICT端末を活用した学び合いの場をつくっている		
8月	[全体研修]校内研修会 (ICT活用事例共有)	研究主任 GIGA担当	
9月	[全体研修]校内研修会 (実践報告会)	研究主任 GIGA担当	9/14 GIGA校内研修推進リーダー研修
10月			
11月	[全体研修]授業交流週間・ふりかえり	研究主任 GIGA担当	
12月			
中間 目標	全教員の中で効果的な学び合いの方法(場面・使用ツール・方法など)についての共通認識ができています		
1月			
2月	[全体研修]校内研修会 (実践報告会)	研究主任 GIGA担当	2/24 GIGA校内研修実践報告書提出締切
3月			

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(安宅中)学校

GIGA校内研修推進リーダー(小野 公平)

## 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

### 成果

ほぼ全職員がタブレットを使用した授業を行い、行った内容を周知することができた。  
Formsを導入したことで、生徒へのアンケートや、教員への行事の振り返りアンケートを簡単に集計することができるようになった。  
Teamsを導入したことで、それぞれの授業でデータの配布・集約などがとても便利になった。

### 課題

タブレットや、タブレットを使用する授業に必然性を感じていない教員もあり、起動に時間がかかることなどに難点があり、全教員が積極的に活用していこうという雰囲気にはまだなっていない。  
タブレットを使用する機会が増えたことにより、破損の回数も増えた。

## 校内研修のアイデア

- ・校内研修でタブレットルールを確認し、全校生徒に周知・徹底させる。
- ・GIGA担当者が中心となって、生徒がタブレットを使用する授業展開例を発信し、他の教員にも興味を持って使ってみてみたいと思わせるように取り組む。
- ・1教科につき1人が、年1回以上タブレットを生徒に使用させる授業を事前に決め、他の教師が参観する。

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・すべての生徒がタブレットを利用する際のモラルやルールについて理解する。
- ・すべての生徒がタブレットの基本的操作ができるようになる。
- ・すべての生徒がQubenaを利用し、基礎学力の定着を図ることができる。
- ・すべての教師がタブレットの機能を効果的に利用した授業展開を考え実践できるようになる。
- ・教員間、教員保護者間、教員生徒間のそれぞれの場面で適切なソフトを使い分け、活用することができる。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	新任者への説明、各学年でタブレットルールを確認する。	GIGA担当	
5月	GIGA担当者会で校内研修について決定する	GIGA担当、 教務、教頭、 校長	
6月	タブレットを使用する参観授業	各先生	
7月	GIGA担当からの授業展開例の紹介	GIGA担当	
中間 目標	全校生徒へタブレットルールが周知される。 すべての先生がタブレットを使用する授業を行う、もしくは予定を立てる。		
8月	希望者へのソフトの紹介	小野	
9月	タブレットを使用する参観授業	各先生	
10月	タブレットを使用する参観授業 GIGA担当からの授業展開例の紹介	各先生	
11月	タブレットを使用する参観授業	各先生	
12月	タブレットを使用する参観授業	各先生	
中間 目標	すべての先生がタブレットを使用する授業を行う。 年度当初よりもタブレットを使用する授業の回数が増える。		
1月	タブレットを使用する参観授業 GIGA担当からの授業展開例の紹介	各先生	
2月	タブレットを使用する参観授業	各先生	
3月	今年度の振り返り	GIGA担当	

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(小松市)立(板津中)学校

GIGA校内研修推進リーダー(坂野 勝弥)

## 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

### 成果

- ・若手が多く、ICTを積極的に活用しようとする人が多い。若プロという場を生かして実践を共有する環境が整っている。
- ・研究主題がICT活用になっており、教員全体がICTの効果的な活用に前向きである。
- ・ICT実践の協力校になっており、講師を迎えて校内研修ができる。
- ・前年度で一人一実践の事例を蓄積することができている。

### 課題

- ・校内研修を日常的に実施することが困難である。
- ・職員室での実践についての会話が少ない。

## 校内研修のアイデア

- ・2カ月に1回の頻度で、実践を報告する時間を教科部会を中心に行う。(30分程度)
- ・GIGA校内研修推進リーダーが、県や市の教育委員会が発信した実践例の動画や資料などを職員全体に周知し、視聴を促したり、感想などを聞いたりする。
- ・授業実践を撮影して記録する。その記録を若プロで紹介する。
- ・総合の探究活動で調べ学習やまとめのときにコンピュータを活用し、学年の先生全体がICTを活用した学習活動に関われるようにする。
- ・松東みどり学園とICTの活用実践の協力校になっているため、連携して研修を行う。
- ・教員が、お互いの授業を参観する機会を設ける。

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

授業を行う教員が、生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたりするために、コンピュータや提示装置などを利用して資料などを効果的に提示することができる。

授業を行う教員が、生徒に意見や考え方を共有させ、比較検討するために、適切な場面でコンピュータや提示装置などを利用して生徒の意見を効果的に提示することができる。

授業を行う教員が、生徒の学習状況やレポートなどの成果物の評価にコンピュータを活用することができる。

GIGA校内研修推進リーダーが同僚の実践を記録したり、紹介したりして、それぞれの実践を共有し、授業を行う教員が積極的に実践できるようサポートをする。

お互いに教科や学年を越えて、実践について話し合ったり、興味をもって積極的に実践してみたりする関係性を築く。

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	学校とICTフォーラムオンラインの講演視聴 新たな授業づくり研修	情報担当	4/7 第1回校内研修
5月	授業実践・参観(一人一実践) 研究授業 指導案検討(英語科)	情報担当 各教科担当 研究主任	
6月	研究授業(英語科)・整理会・講習会・実践報告会 計画訪問 指導案検討(各教科)	情報担当 研究主任	6/10 第2回校内研修
7月	計画訪問(研究授業・公開授業)・整理会 授業実践アンケート①	情報担当 授業者 研究主任	7/7 計画訪問
中間 目標	<b>GIGAタブレットを活用した実践を全員が行い、その実践の成果や課題を共有する。</b>		
8月	教科部会(実践の検討) 模擬授業	教務主任 研究主任 情報担当	小中合同研修会
9月	相互に授業参観		
10月	研究授業(数学科)・整理会・講習会・実践報告会 他校の実践から学ぶ(研究発表会等の参観) 相互に授業参観	情報担当	10/19 第3回校内研修
11月	特別活動におけるタブレット活用の実践 他校の事例から学ぶ(研究発表会等の参観) 相互に授業参観	情報担当 研究主任	11/14 小中合同特別活動授業研究会
12月	他校の事例から学ぶ(若プロ・校内研修等) 相互に授業参観・授業実践アンケート② 実践報告会	情報担当 研究主任	12/23 終業式
中間 目標	<b>共有した実践例の反省や研修での知見をもとに実践を行い、成果を報告する。</b>		
1月	研究授業(音楽科)・整理会・講習会・実践報告会	担当者	1/17 第4回校内研修
2月	若プロ・校内研修・各教科(今年度の振り返り)	情報担当 各教科担当 研究主任	
3月	若プロ・校内研修・各教科(来年度の計画など)	情報担当 各教科担当 研究主任	